

いよいよ夏休み 大学研究をすすめる時期

夏休みを間近に控え勉強はもちろん、新しい大学情報を調べたり、オープンキャンパスに参加したりと3年次生はもとより1・2年次生も受験準備に向けて忙しくなってきます。

まずは最近の入試傾向について流れを把握しておきましょう。

景気の上昇は大学受験にも影響を与えます。景気が良くない時は、比較的就職に強い理系学部へ人気が集まる傾向があります。加えて東日本大震災の影響もあり、ここ4年間は、資格が取れる理系学部へ人気が集まりました。しかし、今年4月以降の全国の受験生の志望動向を分析すると、首都圏を中心に景気が回復しつつあることと国際関係への関心が高まっていることもあって、社会科学系学部を中心に文系学部の人気が戻りつつあります。

看護学部は人気があり志望者が増加しているにもかかわらず2015年度入試の倍率は下がるという現象が起きました。これは八戸学院大学など私立大学で看護学部の新設が相次いだからで、2016年度入試でもさらに新設が続く予定です。

国立大学の場合は全国的に「地方創生」がキーワードです。地域密着型の学部を新設・改組し、地元産業に寄与する人材の育成につなげようとする動きがあります。一方、私立大学のキーワードは「グローバル」です。日本の喫緊の課題であるグローバル化に対し、複数の外国語運用力を養ったり、留学に力を入れたり、国際社会で活躍できる人材の育成が強化されています。このような流れのもと、国立大学、私立大学ともに多数の学部が新設・改組されます。近隣の大学においても2016年度入試から弘前大学、岩手大学などで実施されます。

平成28年度(2016年度)東北大学入試について

以下のようにアドミッションズ・オフィス入学試験(AO入試)Ⅱ期・Ⅲ期の募集人員が拡大されます。AOⅡ期では18名、AOⅢ期では23名の増となります。(ということは、募集人員の全体の合計は変わらないので、前期・後期試験での募集人員は41名減となります。)詳しくはまもなく大学が公表する「平成28年度入試選抜要項」を参照して下さい。

学部	AO入試Ⅱ期		AO入試Ⅲ期		前期日程		後期日程		
	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	
経済学部			40	45	185	185	35	30	
医学部 保健学科	看護学		15	16	55	54			
	放射線技術		5	8	32	29			
	検査技術		5	8	32	29			
薬学部			15	20	65	60			
工学部	機械知能・航空	30	35	33	35	171	164		
	電気情報物理	30	36	35	37	178	170		
	化学・バイオ	15	17	16	17	82	79		
	材料科学総合	15	17	16	17	82	79		
	建築・社会環境	14	17	15	15	78	75		
		104	122	195	218	960	924	35	30

増えるインターネット出願

インターネットから出願手続きができるシステムです。従来必要だった選抜要項(入学願書)を取り寄せる手間がなくインターネットの出願フォームに必要事項を入力し送信することで出願できます。締切ギリギリでも大丈夫、支払いがカード決済やコンビニ振込が可能と便利です。法政大学のように従来の紙による出願とインターネット出願を併用する大学が増えています。

東北福祉大学のように出願はインターネット出願のみという大学もあります。インターネット出願をすると受験料を割引する大学もあらわれました。

時代の期待に応える大学、入試制度へ

大学や世の中が求めている「学力」や「能力」とはどういうものなのでしょう。

東京大学では 2016 年度入試から推薦入試を導入します。大学ではこれまでも期待する学生像として入試のためだけでなく、幅広く興味・関心を持ち、意欲的に学べる人材を求めてきましたが、推薦入試はこうした資質を、さらにさまざまな角度から評価しようというものです。

法学部推薦入試志願理由書（受験生が記入）サンプル

- (1) 現代社会においてあなたが重要と考える問題についてその理由を明らかにしつつ、具体的に論じて下さい。
- (2) (1)で論じた問題について、あなたが今後どのように関わっていくのかについて論じて下さい。その際、東京大学法学部での勉学がどのように役立つと考えられるのかについて述べて下さい。
- (3) その他、あなたが法学部で学びたいことや卒業後の進路などについて、自由に述べて下さい。

また、京都大学で 2016 年度入試から実施される「特色入試」も高校と大学の学習の接続を重視し、高校での幅広い学習や活動に裏付けられた総合力、志望する学部で学習や研究に取り組むにふさわしい学力と意欲を評価することをねらいとしています。

お茶の水女子大学では 2017 年度入試から新型 AO 入試、「新フンボルト入試」を実施します。試験は 3 日間で、1 日目は英語の模擬授業を受け、レポートを作成、2 日目は文系・理系に分かれ文系は図書館を使って課題に対するレポート作成、理系はグループ実験とレポート作成、3 日目は作成したレポートをもとに個別面接等を実施するというものです。

入試方法の多様化と合わせて、評価の仕方や出題方法においても新しい試みが行われています。たとえば、国際基督教大学 (ICU) では一般入試に「総合教養(ATLAS)」を導入しました。これは特定のテーマについての講義をその場で聴き、設問に解答するという試験です。また、英語外部試験活用も徐々に増えています。実用英語技能検定 (英検)・TOEFL iBT・TOEIC で取得した資格や点数が利用されます。

受験で基礎的な知識や解法を習得することは必要です。そのうえで、大学では、知識の量だけでなく、科目の枠を越えて学んできたことを結びつけ考えたり判断する力や知識を活用して課題を解決する力、といった本質的な学力がいっそう求められています。

英語外部試験活用について

国立大学や主要私立大学を中心に英語の外部試験活用の動きが広がっています。

利用の仕方としては出願要件にするケース、合否判定で加点されるケースなどさまざまです。東京海洋大学海洋科学部では AO 入試だけでなく一般の入試においても受験資格として TOEIC400 点以上または英検準 2 級以上などを課しています。上智大学では「TEAP(アカデミック英語能力判定試験)」を日本英語検定協会と共同開発し入試に導入しています。この試験は大学で学習・研究する際に必要とされる英語運用能力(英語で資料や文献を読む、英語で講義を受ける、英語で文章を書くなどの技能)をより正確に測定することを目的としたものです。上智大学の他に立教大学や青山学院大学でも利用されています。



オープンキャンパスに参加しよう!

オープンキャンパスでは「大学案内」やホームページを見ているだけでは得られない情報や大学の雰囲気を知ることができます。高校生がどんな理由でオープンキャンパスに参加したか、河合塾でまとめたアンケート結果があります。参考にして下さい。この夏積極的に大学のオープンキャンパスに参加しましょう。志望校を決定するヒントが得られるはずですよ。

参加するにあたって期待していたこと

